

有名ブロガーがあのサービスやこのサービスを斬る!

タダで使える

ブログサービス採点表

2002年後半から技術者を中心にじわじわと増えてきたブログだが、CGIの設置などまだまだ初心者には難しく、爆発的に普及するまでには至っていない。しかし、ここに来てISP大手のニフティが会員向けに無料ブログサービスを始めるなど、いよいよ本格的に広がっていく兆しが見える。この記事では難しい知識がなくても始められる無料ブログサービスを6つ、有名ブロガーの歯に衣着せぬコメントを交えて紹介する。サービスにはそれぞれ個性があり、ユーザーにとって向き不向きもある。自分の目的に合わせて選択することが重要だ。あなたも自分に合ったサービスを見つけてブログの世界に飛び込んでみてはいかがだろうか。

text:田口和裕 illust.:Harada Kaori

無料ブログサービスを評価したブロガーの面々



Milano [Milano::Monolog]

URL <http://rebecca.ac/milano/mt/>

ブログ上でMovable Typeの文字化けの解消方法を発表したところ好評を博し、調子に乗って日本語化パッチを作り上げてしまった人。ブログでは日本語化パッチを配ったり、ペットのカエルを紹介したり、食べたチーズについて記録したり、ビジュアル系バンドや自転車について書いたり、まるっきり統一感のない記事を量産している。



naoya [NDO::Weblog]

URL <http://naoya.dyndns.org/~naoya/mt/>

インターネット関連企業で、おもにウェブ系システム業務を担当。ブログに触れたのは2003年初頭頃で、コツコツとコンピュータやプログラミングやブログの技術関連の話題、日頃の雑多なことをネタに更新を続けている。RSSをアグリゲートする「RssRolling」というサイトや、アマゾンウェブサービスを使ったブログ連携ツールも作っている。



AKO [snootica]

URL <http://www.girlholic.com/ako/>

女の子向けの音楽やアートなど、かわいいもの全般を扱ったブログを目指して(サボりつつ)更新している。仕事はグラフィックとアパレルのデザインを手がけている。最近では犬の洋服のブランドを立ち上げた。友人たちと「girlholic.com」というウェブサイトを立てて4つのブログを(こまめなサボりつつ)運営中。



増田 maskin 真樹 [METAMIX! maskin's blog]

URL <http://www.metamix.com/>

ジャーナリスト兼コンサルタント。ITテクノロジー & カルチャーの最前線を20年近く追いつけるアクティビスト。執筆活動を生業としながらも、エージェント & アドバイザーとしてさまざまなビジネス開発に関与。インターネットマガジンやHotwired Japanなどで、ウェブサービスの新たな潮流についての提言を行う。



加野瀬未友 [ARTIFACT - 人工事実 -]

URL <http://artifact-jp.com/>

美少女ゲーム雑誌の編集長などを経て、現在フリーで活動中。オタク文化考察サイトとして好き勝手なオタク話を世間様に発信していたが、過去ログの整理が面倒になり、Movable Typeを導入した。カスタマイズ情報を書いたり、ブログツールのリストを公開したりしていたら、いつのまにかブログ世界の住人として扱われるようになった。



田口和裕 [RICKDOM]

URL <http://www.rickdom.com/>

ITライター兼音楽ライター。広告代理店系ウェブ制作会社で6年間ディレクター・プロデューサーを務め、2003年独立してライター稼業に。雑誌やムック、ウェブサイトなど媒体を問わずに執筆活動をしている。趣味はアマゾン衝動買いとメジャーリーグ観戦。著書に「Movable Typeではじめる ウェブログ入門(共著、翔泳社)がある。

ブログは心をつなぐコミュニティーツール

interview

ニフティが満を持して開始した会員向けの無料ブログサービスが「ココログ」だ。ブログツールの代表格であるMovable Typeをベースにしたホスティングサービス「TypePad」の日本語版と言える。一風変わったこの名称は、「心」と「blog this(ここ)を掛けあわせて生まれた。ココログを担当しているコミュニティ部の清田一郎氏は「自分の興味のあることをそれぞれの人が思いのままに記すのがブログだと思います。そうした人々の心がつながっていく意味を込めま

した」とコミュニティーにこだわっている企業らしい説明だ。サービスについては「特別に派手な機能はないですが、ブログとしてもっとも洗練されていると自負しています。ブログ業界のリーダーでMovable Typeを開発したSix Apart社と協力して、今後機能を追加していきます」と自信を見せた。

ココログを担当しているコミュニティ部の清田一郎氏と、清水まゆみさん、樺澤晶子さん

ココログ (ニフティ)



定評のある「TypePad」を採用した無料ブログサービスの本命

ココログ

ニフティ

URL <http://www.cocolog-nifty.com/>

日本ブログ界の牽引役になるか？！

まさにTypePadの日本語版と言える下の設定画面。本文入力欄①では、ほとんどのHTMLタグが使用でき、②のボタンを使えばフォントのボードなど基本的なタグを挿入できる。



S p e c	
容量:	30MB
コメント:	可
トラックバック:	可
カテゴリ-(アーカイブ):	可
スタイルシートの直接編集:	不可
デフォルトテンプレート:	16個 (2003年12月11日現在)
パーマリンク:	可
RSS作成:	可(RSS1.0)
モブログ対応:	投稿:可、閲覧:不可
URL表示例:	http://ユーザー名.cocolog-nifty.com/

スペックの各項目の意味は各ページ最下部の解説を参照

ニフティの会員ならば無料で使える(58ページを参照)。Movable Type(MT)のホスティングサービスであるTypePadを元にしていて、MTを使ったことがあればまったく戸惑うことはない。また初心者でもヘルプページが充実しているため、何度か試してみればすぐに使えるようになるだろう。巨大な会員数を誇るニフティだけに、日本のブログ界を牽引する存在になり得る。

人気のニフティ社長ブログにトラックバックしてみるのもいいだろう。



ひたすらブログの楽しさを味わえる

評価:

機能がとにかく豊富だ。それゆえに、最初は何をしたらいいのが戸惑ってしまう。しかし、インターフェイスがうまく設計されているうえ、使い方ガイドやヘルプなどが充実している。そして何よりもココログの元になっているMovable TypeやTypePadの情報はインターネットや書店にたくさんあるようになってきたので、本気でココログを使いこなしたいと考えても、さほど苦労はしないはず。ただ、デザインを中心になんでも好きなように「自由にカスタマイズ!」と言うわけにはいかない。大切なのは「見た目より中身!」と割り切ることだ。とにかくブログの楽しさを味わいたい人向け。

(Milano)



サービス開始当初からもう貫禄十分!

評価:

エンジンであるTypePadのメニューからすれば一番ベーシックな仕様を元にしたサービスだが実際に使ってみればサーバーインストール型の高機能ツールMovable Type(MT)をも凌駕する本格的なものであることがわかる。ドメインは、ニフティが用意した「5タイプ+サブドメイン」しか使えないが、MTユーザーが乗り換えても差し支えないほどのパワーだ。無料のブログツールが「これとこれがあればブログ」と初心者向けにオールインワンサービスになっているのに対して、ココログは機能面や語彙の選び方などが慎重に練り込まれていて「まだまだこれから」と言わなければならない。貫禄がある。

(maskin)



ニフティ会員になろうかなあ.....

評価:

正直言ってTypePadのインターフェイスは初心者にはやさしいとは言えないものだと思っていたのだが、さすがニフティ! すばらしい日本語版開発の仕事だ。「トラックバック」を「連携リンク」と訳すなどの思い切った仕様が功を奏している。また、ポータルページの充実振りも特筆ものだ。微に入り細にわたったヘルプや「トラックバック野郎」などの企画ページ、自前のPingサーバーの設置など本気でブログ文化を日本に根付かせようという意思が感じられる。携帯電話からの投稿ができるのもポイントだ。ニフティのアカウントを持っていればぜひ使用をすすめる。僕もニフティに入ろうかなあ.....。

(田口)

容量: デジカメなどの画像をアップロードできるサーバーのハードディスク容量。 コメント: 読者が記事にコメントを自由に付けられる機能。

あのMovable Typeに匹敵する機能を実装

livedoor Blog

エッジ(2004年2月1日よりライブドアに社名変更)

URL <http://blog.livedoor.com/>



完成度が非常に高く今後にも期待



① サイドバーの項目は設定によって消したり順番を変えたりすることが可能。また、画像データのアップロードも本文を入力する下の設定画面でできる。②をクリックすると別ウィンドウで画像アップロード画面が現れる。



①

②

S p e c

- 容量: 無制限(版期間のみ)
- コメント: 可
- トラックバック: 可
- カテゴリ-(アーカイブ): 可
- スタイルシートの直接編集: 不可
- デフォルトテンプレート: 11個
(2003年12月11日現在)
- パーマリンク: 可
- RSS作成: 可(RSS1.0)
- モブログ対応: 投稿: 可、閲覧: 不可
- URL表示例:
<http://blog.livedoor.jp/ユーザー名>

スペックの各項目の意味は各ページ最下部の解説を参照

ポータルサイト「livedoor」のコンテンツの1つという位置付けだ。利用するには「livedoor ID」の登録が必要(無料)になる。一見してMovable Type(MT)に非常によく似ている。細かいデザインの変更を除くと、MTにできて「livedoor Blog」にできない機能はほとんどないだろう。シンプルなインターフェイスなので、初心者もさほど迷わない。携帯端末からの投稿も可能だ。季節に応じたデザインテンプレートが随時追加される予定というのもうれしい。



「ブログで真ん中」を 求める人におすすめ

評価:

まったくの始めから開発して記述されたそうだが、その操作性や機能、出力されるページ、ツールで使用されている用語などには、定番ツールのMovable Type(MT)に強く影響を受けている印象だ。裏を返せば、livedoor Blogも定番の作りになっているとも言えよう。livedoor IDを取ってナビゲーションに従って設定すれば簡単に始められる。シンプルなインターフェイスでデザインを一覧から選択できるなど、難しくなりがちなところはうまく工夫されていて好印象だ。モブログを手軽に始められる点も評価できる。「ブログで真ん中」を求める人におすすめといったところ。今後の予定を公開している「開発日記」を見ると、今後の成長にも大注目。

(naoya)



とりあえずブログを 試してみたい人向き

評価:

デフォルトのデザインが、正直に言ってしまうとあんまりよくないです。種類も少ないし、カスタマイズも一切できない。でも記事の編集画面は、画像をアップロードするページが分かれている点以外は、わかりやすく使いやすい。Movable Type(MT)の編集画面に似ている気がするので、MTに興味のある方やとりあえずブログを試してみたい方にはおすすめかな。あとシンプルが好きなお方にも。個人的にはデザインがアレなので、今はまだ魅力を感じませんが、機能的には十分だしすごく使いやすいので、デザインが改良されるか、カスタマイズができるようになったら使ってみたいと思う。携帯電話からも投稿できるし、今後にも期待したい。

(AKO)



次々と追加される 新機能に期待!

評価:

良くも悪くも癖のあまりないシンプルなブログだという印象。Movable Typeをシンプルにした風のユーザーインターフェイスは好感が持てるし、設定画面の項目が少ないのもいい。今のところレスポンスも早くまったくストレスを感じない。ばりばりカスタマイズしたい人にはものたりないかもしれないが、簡単にシンプルなブログを作りたい人には、たいへんいい選択肢となるだろう。個人的には、やはりブログは見た目よりもコンテンツだと思うので、機能的にもこれで十分だと感じる。「開発日記」をチェックしていると、高頻度で次々と機能が追加されているようなので、将来は大化けする可能性を秘めているのかもしれない。

(田口)

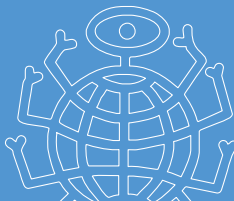
トラックバック: リンクを張ったことをリンク先のサイトに伝える仕組み。トラックバックを受けたサイトでは、「このページにリンクしているページ」という形で関連する内容のページを紹介できる。

多くの機能を実装した変わり種サービス

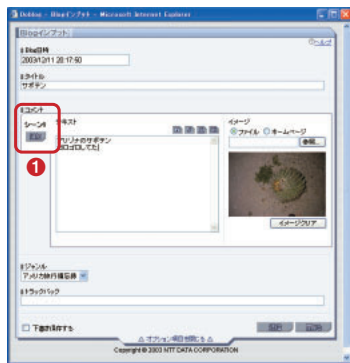
Doblog

NTTデータ

URL <http://www.doblog.com/>



ほかにはない独自機能が目立つ



Doblogでは同一日時の複数投稿は「シーン」として扱われる。
①をクリックすれば1日に何シーンでも作成可能。②ではプロフィールで指定した写真を表示させることができる。③はほかのブログとのつながりを表示する「HottoLink」で、ブックマークやコメントのやりとりで判断して、交流のあるブログが視覚的に表示される。現在はDoblog内のみ。④をクリックすると投稿された画像のスライドショーが開始される。⑤はインターネットエクスプローラ専用のツールバー。



S p e c	
容量:	無制限
コメント:	可
トラックバック:	可
カテゴリ(アーカイブ):	可
スタイルシートの直接編集:	可
デフォルトテンプレート:	3個 (2003年12月11日現在)
パーマリンク:	通常の利用方法では不可
RSS作成:	可(RSS1.0)
モブログ対応:	投稿:不可、閲覧:不可
URL表示例:	http://www.doblog.com/weblog/myblog/ユーザー番号

スペックの各項目の意味は各ページ最下部の解説を参照

インターネットエクスプローラのツールバーや「HottoLink」と呼ばれるブログ間のつながりを図示するツールやJavaScriptを多用した仕組みなど、独特な機能を備えた個性的なサービスだ。普通にブラウザを使っているパーマリンクのURLがわからないなど、Doblogユーザー間での閉じたコミュニケーションに主眼を置いている。Movable Typeに慣れたユーザーは少し戸惑うかもしれないが、基本的にはわかりやすいインターフェイスだ。



単なるウェブ日記の更新には向くが.....

評価:

簡単にブログが始められるのが一番のウリ。多少は不親切な部分もあったりするけど、インターネットのレンタル掲示板などのサービスを利用したことのあるユーザーであれば直感で使えそう。パーマリンクがなかったり、ブログを更新したときの通知の「Ping」を送信できなかったり、Doblog以外の外部の世界へは広がりにくい作りになっている。そのぶん、同じDoblogを利用しているユーザー同士のコミュニケーションについては、さまざまな手段が用意されている。情報を整理するようなコンテンツとしてDoblogを利用するよりも、単なるウェブ日記を毎日更新するようなことを目的とした使い方が向いているだろう。

(Milano)



コミュニティとして成立するかが楽しみ

評価:

とにかく多機能。定番の機能に加えてサイトのサムネイル生成やツールバー連携といった独自の機能も備えていて、ほかのツールに比べて一際派手な印象。ただ、機能が機能の域を出ておらず、サービスの見せ方としてもう一工夫あるとよいかも。訪問Doblogユーザーを調べられたり、Doblogユーザーの相関が視覚的に見られたり、トラックバックが手軽に行えたりと、ユーザー同士、ブログ同士のつながりを実現する機能がいろいろ用意されているのは注目のポイント。Doblogユーザー間で閉じてしまっているのは少し残念だが、このつながりがコミュニティとして成立するかが楽しみだ。機能性を重視する人におすすめでしょうか。

(naoya)



画像の扱いは優秀だが改善余地も大きい

評価:

随所でJavaScriptが多用されているのが気になるため、評価が低くなった。記事を書くのにわざわざ小さな別ウィンドウが開くようでは、気楽に書けない.....。また、トップページは、その月の記事が全部表示されるため、たくさん記事があるとファイルサイズが大きくなってしまるのは考えもの。ツールバーも必要性を感じなかった。便利なのは画像関連で、画像のアップロード時にサムネイル画像を確認できるし、URLを入力すると、そのURLのサムネイル画像を生成してくれる。ほかのサービスでもぜひ欲しい機能だ。画像を多用したりサイト紹介を中心としたブログでは便利だろう。逆に文章をたくさん書きたい人にはすすめられない。

(加野瀬)

カテゴリ(アーカイブ): 記事を分類してそのカテゴリの記事だけのページを作る機能。 スタイルシートの直接編集: ページのデザインをCSS(スタイルシート)を編集してカスタマイズする機能。

ポータル1コンテンツとして 基本サービスは今後も無料

2003年いっぱい、版から正式サービスに移行する「LivedoorBlog」についてディレクターの有賀之和氏とエンジニアの池邊智洋氏に話を伺った。まずエッジがブログサービスを始める理由については「最近ライブドアの業務内容が無料プロバイダーからポータル中心になり、ポータル1コンテンツとしてブログを企画しました。無料サービスにすることによってlivedoor IDの増加を狙っています」と、会員数を増やすスカラーコンテンツとしての位置付けであることを強調した。「基本的な機能のみは今後も無料で提供します。しかし、近いうちに実現できるとされる独自ドメインサービスなど、今後付加する新たなオプシ

ョン機能の一部は有料で提供していく方針です」と、将来の機能拡張も約束してくれた。エッジが販売する「Lindows」や「Eudora」といったクライアントサイドアプリケーションとの連携も計画しているそうだ。

最後に、導入を検討しているユーザーへのメッセージとして「社長以下多くの社員がブロガーです。自分たちが使いやすいツールをと考えて作りました。初心者にも使いやすく、上級者にも満足できるサービスになっているはず。今後もトレンドに合わせて、新機能が付いていきます。開発日誌もチェックしてくださいね」と締めくくった。

Livedoor Blog (エッジ)

ディレクターの有賀之和氏(右)とエンジニア
クニカルディレクターの池邊智洋氏(左)



有益な情報が数多く集まり、 ユーザー同士で有益なコミュニケーションが取れる場

大手SI企業のNTTデータがブログサービスを始めたとき驚いた。なぜ手がけたのかを担当の藤村剛氏にぶつけてると、「新規事業の立ち上げを目的とした部署で企画されました」と切り出してくれた。

藤村氏の部署ではComRM(Community Relationship Marketing)という考え方を実験している。通常のCRM(Customer Relationship Marketing)は、1社に顧客を囲い込んでマーケティングを行うのが基本だが、ComRMではコミュニティ内での自由な発言の中からマーケティングデータを抽出していくという考え方。「『@COSME』[URL](http://www.cosme.net/)」などのサイトである程度成果があります。これを一歩進めて自分たちでコミュニティを作ることができないだろうかという発想で立ち上げました」と藤村氏が言うように、あ

くまでも現在のDoblogは実験的な意味合いが強い。なるほど、コミュニティを利用したマーケティングツールという位置付けなので一見閉じられたサービスに見えるのだ。

「一方的にユーザーから情報を得るのではなく、いろいろと利益を還元したいと思っています。使いやすく無料で提供するのはもちろんですが、情報が多く集まってユーザー同士で有益なコミュニケーションが取れる場としてDoblogに参加する価値を高めていきたいです」

将来的には携帯電話やGPSと組み合わせた高度なサービスも考えられていると言うが、ブログを起点とした他のサービスとは違う「コミュニティと情報」という視点で始められたDoblog、なるほど毛色が少し違うはずだ。

[URL](http://cosme.net/) http://cosme.net/

DoBlog (NTTデータ)

NTTデータのビジネスインキュベーションセン
タ インキュベーション推進担当シニア
エキスパートである藤村剛氏



まだまだあるぞ! 無料ブログサービス

いよいよ日本でも本格的にブログムーブメントが始まったようだ。この特集で詳しく紹介した6つのサービス以外にも無料サービスは続々登場してきている。噂レベルでは今年度中にさらに多くの企業が参入するとの情報もある。ここでは注目すべき無料ブログサービスをいくつか紹介する。それぞれ個性があるので特徴を理解して自分に合ったサービスを選ぼう。

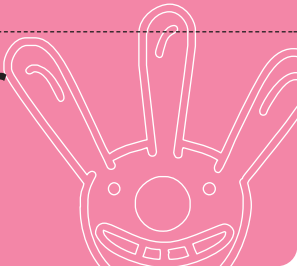
サービス(運営社名)	概要
Seesaa ブログ(シーサー) http://blog.seesaa.jp/	シーサーが発売するブログ運営用アプリケーションサーバー「BlogServer1.0」のエンジンを使用した無料ブログサービス
チャンネル北国tv(北国からの贈り物) http://ch.kitaguni.tv/	ブログツール「blosxom」を元にした無料ブログサービス。投稿への投票機能がある
マイぶれず(個人) http://www.mypress.jp/	柔軟なカスタマイズが可能な無料ブログサービス。携帯からの閲覧や投稿も可能
ヤプース!(yapeus project) http://www.yapeus.com/	携帯での投稿がメインのブログサービス。サーバーが不安定なのが残念
ばりよん(個人) http://www.bari4.com/	携帯から投稿するモブログツール。PCからの投稿は不可能

シンプルだが完成度は非常に高い

News Handler

個人運営

URL <http://blog.nettribe.org/>



上級者向きのカスタマイズが可能



①の部分にはバナー広告が入る。②はキーワードを指定することが可能で、そのキーワードで検索できる。③をクリックして設定するとアマゾンウェブサービスを使って、本やDVDの情報の表示が可能になる。アマゾンのアソシエイトIDは「News Handler」のものになる。



S p e c

- 容量：無制限
- コメント：可
- トラックバック：可
- カテゴリ-(アーカイブ)：可
- スタイルシートの直接編集：可
- デフォルトテンプレート：38個
(2003年12月11日現在)
- パーマリンク：可
- RSS作成：可(RSS1.0)
- モブログ対応：投稿：不可、閲覧：可
- URL表示例：
<http://blog.nettribe.org/btblog.php?bid=ユーザー名>

スペックの各項目の意味は各ページ最下部の解説を参照

PHPで作成されたブログサービス。今回取り扱ったサービスの中では唯一CSSと独自タグを利用したテンプレートの編集が行えるのがいちばんの特徴。編集時にはリアルタイムで結果がプレビューされるほか、アマゾンウェブサービスを利用したアソシエイト入力補助ツールなど独自の機能が目立つ。ただし、画像のアップロードができないため、ページに画像を表示したい場合には別途サーバスペースを用意しなければならない。



初心者から上級者まで満足できる

評価：

ちょっとぶり素人っぽいデザインの38種類のテンプレートを見て「なんだかなあ～脱力系のツールかな?」と思ったのだが、実際に使ってみると、個人向けのブログツールとして研ぎ澄まされている感がある。記事の入力中にプレビューがリアルタイムで表示されたり、記事データベースを投稿時間で検索できたりするなど、初心者にはもちろん、使い慣れたユーザーにも納得できるブラッシュアップが各部で行われている。とにかくシンプルで簡単。初心者でもユーザー登録からブログの開設まで、悩まずに進むはずだ。それでいながらブログツールの基本的な機能は漏らさず押さえてある。これまでホームページ作りに挫折してきたような人にも最適だろう。

(maskin)



テキストのみで勝負する人におすすめ!

評価：

残念なことには画像のアップロード機能が付いていないんですね。外部にファイルを置く必要が出てくるので、これは結構大きな問題。デフォルトのデザインは、カチツとしてシンプル、ある意味でブログらしすぎるものが多く、個人的にはあまり魅力を感じなかった。HTMLとCSSの知識があれば、カスタマイズは自由ができる。以上の点から、ブログに関する機能は揃っているけど、初心者の方には向かないサービスだと思いました。ただ、記事内の単語をキーワード化できるのは、すごく便利です。機能もデザインもシンプルなので、「余計なモノはいらねえ、テキストのみで勝負するんじゃ!」っていう漢らしいタイプの方にはピッタリかも。

(AKO)



シンプルだが上級者もうならせる

評価：

一見そつけないほどシンプルで物足りなく感じるが、使ってみるとその機能と使いやすさに驚く。無料ツールでは唯一徹底的なカスタマイズが可能になっているので、デザインにこだわる人には最適だろう。独自タグ Movable Typeで言うとテンプレートタグを理解できれば、ツールを使ってページを作成していることに気づかれないレベルまで持っていくことも可能だろう。アマゾンウェブサービスをいち早く導入しているところもポイントが高い。動作も快適でストレスを感じない。画像をアップロードできない点が残念だが、すでに自分のサーバスペースを持っている上級者がサブとして運営したい場合などにはいい選択かもしれない。

(田口)

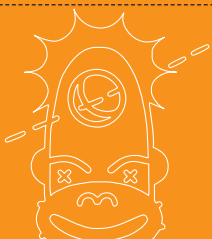
デフォルトテンプレート：用意されたデザインテンプレートの数。選ぶだけでデザインを変更できる。パーマリンク：パーマメントリンク。記事に直接リンクできるように記事ごとのページを作る機能。

超お手軽で初心者も怖くない

MyPROFILE

ドリコム

URL <http://www.myprofile.ne.jp/>



かわいいので女性にも受ける



- ① の日付入力では自動的に投稿時の日時が表示される。
- ② から多数用意された絵文字を本文に挿入できる。



S p e c

容量: 明記せず
 コメント: 可
 トラックバック: 可
 カテゴリー(アーカイブ): 可
 スタイルシートの直接編集: 不可
 デフォルトテンプレート: 44個
 (2003年12月11日現在)
 パーマリンク: 不可
 RSS作成: 可(RSS1.0)
 モブログ対応: 投稿: 可、閲覧: 不可
 URL表示例:
<http://www.myprofile.ne.jp/ユーザー名+blog>

スペースの各項目の意味は各ページ最下部の解説を参照

「MyProfile(マイプロフィール)」という自己紹介を作成するサービスに付随しているブログサービス。サービス提供はブログの検索やPing受け付けサービス「Myblog japan」や更新通知サービス「MyblogList」でおなじみのドリコム。若年層や女性をメインターゲットにしているようで、テンプレートもかわいいものが多く豊富な絵文字も使用できる。操作は非常に簡単だが、ブログとしての機能はひとつおり揃っている。



これが無料？
試さないで損だぜよ！

評価：

すばらしいサービス！特に日記とブログに分かれている点が優秀。プライベートな内容は日記に記述するなど、書く内容によって区別できて便利だ。ブログ以外の機能も充実していて、各レンタルサービスの良い所を全部集めちゃったみたいな感じ。携帯電話からも画像付きで更新できるし、絵文字も使えるし、操作はサクサク軽いし、本当に至れり尽せりだ。「無料なんですか？」って不安なほど。デザインはバリエーションが豊富だけど、カスタマイズが一切できない点と、女の子向けという印象が強い点だけアレだと思いました。それ以外はパーフェクト。はな、ヤース！のユーザーにはぜひ試してほしい、というか「試さないで損だぜよ！」です。

(AKO)



ブログ+名刺+日記
のまか不思議

評価：

絵文字が使えるため、文章だけでもにぎやかなものにしやすい。硬めの文章より、身近エッセイ的な文章のほうが合うだろう。ただ、ブログのほかに日記もあり、コメントやトラックバック、ジャンル、RSS出力を除くと違いがあまりなく、使い分けが難しそう。そもそも、マイプロフィールはネット上の名刺というコンセプトのサービスで、生い立ちを書くバイオグラフィー機能もあり、面倒なことを考えずにネット上の名刺+ブログが欲しい人向けか。デザインはFlashを使った動きのあるものだが、すでに用意されているものからしか選択できない。カスタマイズできる部分が少ないので、こだわって使っていた人は避けたほうが無難だ。

(加野瀬)



ブログを使った
自己紹介サイト

評価：

コミュニティサイトでもなく、純粋なブログサービスでもない。あらためてマイプロフィールの解説文を読んでみると、これが「自己紹介サイト」だということがわかった。電子メールの署名に、名前やメールアドレスを入れるだけでなく、マイプロフィールのURLを入れて、自分をより詳しく知ってもらおうというサービスなのだ。一見「同じでは？」と感じる「日記」と「blog」が混在しているように見えるが、日記はあくまで日記で、ブログはどちらかというと「公的な場所」で外向けの情報を発信するためにある。そこに自己紹介や生い立ちがからんでくることで、普通のブログサイトより人間くさい「自己紹介サイト」になるといわれた。

(maskin)

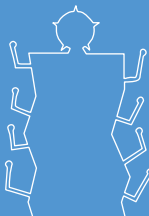
RSS作成: RSS(RDF Site Summary)と呼ばれる、記事の概要を示すXMLファイルを作成する機能。RSSリーダーなどで閲覧できるようになる。

2ちゃんねるから生まれた独特インターフェイスが異彩

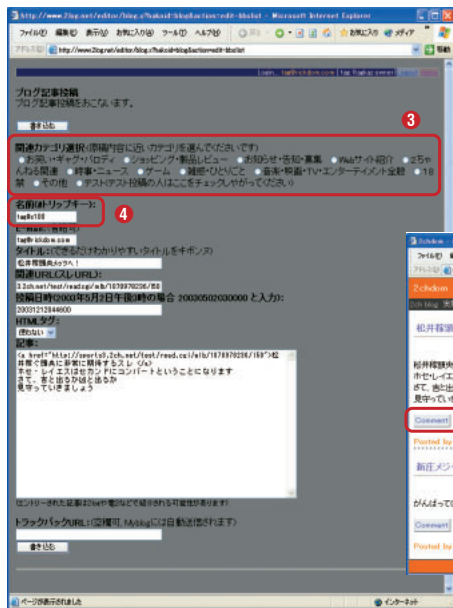
2ch-Blog

パーチャルクラスター

URL <http://www.2log.net/>



癖はあるが使いこなせば便利かも



①をクリックしてコメントを書き込むが、コメントは掲示板形式でも表示できる。②は本人が書いたことを証明する「トリップ」というもの。複数でブログを運営することを考慮した機能だ。③は「電波2ちゃんねる」でのカテゴリ表示に使用される。④は名前およびトリップキー入力欄。名前のあとに「#」と英数字を入れることで固定トリップが表示される。



S p e c

- 容量：無制限(画像投稿不可)
- コメント：可
- トラックバック：可(発信のみ)
- カテゴリ(アーカイブ)：不可
- スタイルシートの直接編集：可
- デフォルトテンプレート：14個
(2003年12月11日現在)
- パーマリンク：不可
- RSS作成：可(RSS1.0)
- モブログ対応：投稿：可、閲覧：可
- URL表示例：
<http://www.2log.net/home/ユーザー名>

スペックの各項目の意味は各ページ最下部の解説を参照

ブログサービスと言っているのか悩むところだが、最大の特徴は掲示板形式で投稿できること。本人を識別するパスワードを発行するトリップ機能など「2ちゃんねる」から生まれたツールらしく2ちゃんねる独特の機能がある。インターフェイスが統一されていないので使い勝手は悪いが、カスタマイズ機能は強力だ。複数ユーザーで運営できるのも大きな特徴だ。王道のMovable Type系ブログのコミュニティとはひと味もふた味も違う世界に出会えるかもしれない。



三日坊主になる可能性もある

評価： ☆

初めて使ってみたときの印象は「わかりづらい!」の一言。Movable TypeやpMachineのようなインターフェイスに慣れてしまっていたため、2ch-blogの独特のインターフェイスには馴染めなかった。ところが、調べながら使っていくうちにかなり柔軟にカスタマイズできることがわかり、いろいろといじる楽しさにもめり込んでしまった。カスタマイズ次第ではどんな使い方にも対応できそうなのだ。ただ、カスタマイズのための情報があちこちに散在しているため、情報を探し出す根気とスキルが必要になる。そのスキルがなければ、たちまち三日坊主のブログになってしまうだろう。「ブログを続けるんだ!」という信念を持った上級者向け。

(Milano)



ブログと掲示板の融合はおもしろい

評価： ☆

オープンソースのMFBBSをベースとしたシステムで、初めはなりとつきにくく、お世辞にも優れたインターフェイスとは言えない。しかし、ブログツールと2ちゃんねるのような掲示板という2つの似て非なるアーキテクチャーを、いい意味で一緒くたにしてしまおうというコンセプトがあり、そこがすごくおもしろい。ある時はブログ、ある時はスレッドフロート掲示板といった形に見える、ほかにはない独特の雰囲気がある。この特徴を生かして、盛り上がっているサイトも見られる。ブログツールという意味では異色だが、掲示板と連動するというコンセプトに興味を持った人は利用してみるとおもしろいかもかもしれない。

(naoya)



複数スタッフを強く意識したシステム

評価： ☆

掲示板が一緒にできるのが便利だ。アンケート機能もある。各記事へのコメントは、この掲示板に書かれるというのがおもしろい。スタッフ制で書くことを強く意識し、各スタッフの権限を細かく設定できる。管理画面の一部で記事の公開の選択などを文字入力させるなど、インターフェイスの洗練さに欠ける部分があるのは残念。自分の作るジャンルとは別に関連カテゴリを設定し、2ch-blogのトップに新着記事として表示されるため、読まれやすくなるのは嬉しい。スレッド型掲示板に慣れている人や、複数で運営したい人には向いているだろう。ただし、管理画面で2ちゃんねる用語がよく使われているので、そういうノリがダメな人は注意。

(加野瀬)

モブログ対応:「Mobile Blog」。携帯電話からブログに投稿できる「投稿」機能と、ブログを閲覧できる「閲覧」機能。

URL表示例:実際にそのサービスでブログを作った場合のURLの例。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp